



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和5年2月2日(木)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

大切にしたい日本の文化～節分～



ところで、昨年度も学校通信で紹介しましたが、1年生は初めてなので改めて書きます。

校長先生の母親は広島出身です。が、その村の節分の日の風習は少し変わっています。夜になると、部屋を真っ暗にして、カーテンをして、光が入り込まないようにします。全く見えない暗闇の状況の中で、親や祖父母、親戚の方がティッシュに包んだ豆やお菓子をまきます(よくよく考えると、後で食べる時に衛生的なのでそうなのだと思います)。

面白いのは、そのティッシュの中に、お金(硬貨)が包まれているのです。1円、5円、10円、50円、100円です(当時は500円玉がありませんでした)。暗くても、つかんだら豆なのかお金なのかはわかりますよね。子どもだった先生は、豆やお菓子には見向きもせず、ひたすらお金を探していた記憶があります。暗いので、全部見付けることはできません。電気がついて、拾えなかったお金は大人が集めて終わりです……。

このように地域や場所によって面白い風習があります。参考までに書きました。みなさんも、いろいろな風習を調べてみたらおもしろいかもしれません。



30歳の私へ～校長先生の教え子から～

先日、校長先生の教え子から連絡がありました。30歳の同窓会を開いた折、タイムカプセルに入れた手紙が出てきたそうです。それを、校長先生に送ってくれました。みなさんは、必死になれるものを何かもっていますか?何かに必死になっていますか?今は分からないかもしれませんが、大人になった時に、それが本当に大切なものだったと気付くはずですよ。尾倉中の生徒のみなさんの心に響く内容だと思いますので、今回掲載しました。ぜひ読んでください。(裏面実物)

あなたの夢は、大好きなバドミントンをずーと続けて、小さな子供にバドミントンの楽しさを教えるコトでした。あなたは、その夢を叶えていますか?

中学生の頃はいろいろありました。あなたは、曾根東小学校を卒業し、曾根中学校に入学しました。1年3組だった、あなたの担任の先生であった栗原博巳先生がバドミントン部の顧問だったということもあり、なんとなくバドミントン部に入部しました。まさか、あんなに厳しく、きつい部だったとも知らずに……。それからの毎日は、本当に大変でした。あなたの学年のバドミントン部の中で、一番最初に栗原先生に怒られたのもあなたでした。怒られてばかりで、でも、全くできない自分が悔しくて、あなたは何度も泣きました。泣いて、泣いて、泣きまくりました。

でも、1年を終えた時、あなたは初めて勝てるようになりました。1点取れば喜んでいたので、それが勝つことができるまでに進歩しました。それが、とっても嬉しく、そして、それと同時に負けることの悔しさを覚えました。

そうして、2年目を終えた時、あなたはとってもバドミントンが大好きになっていました。初めて、〇〇ちゃんと組んで、賞状をもらったときのこと、●●ちゃんと組んで、初めて市で優勝できたときのこと、県で三位になれたときのこと、九州大会出場が決まったときの喜び、きっと今も忘れてないでしょう。けれど、その喜びの分だけ、辛いことも、悲しいことも、苦しいことも、悔しいこともありました。でも、中学校で過ぎた時の全ての思い出は、今のあなたも覚えているほどの、大切な、大切な宝物だったと思います。そして、これからもその思い出はきっとずーと宝物であると思います。

あなたは進路を決めるときずいぶん悩みました。九州国際大学付属高校に行くのか、福岡県立小倉西高校に行くのかでずいぶん悩みました。でも、結局、あなたは小倉西高校を選びました。その時のあなたは、その選択が正しかったのか分かりませんでした。でも、今はもうその答えが出ているはずですよ。その時のあなたは、九州国際大学付属高校に行かなかったことを少し後悔していました。でも、今のあなたはきっと、後悔していないと信じています。きっと、楽しい高校生活を送り、楽しい大学生活を送り、元気に過ごしていると思います。

もし、今のあなたが自分の夢をまだ叶えられていなかったとしたら、今からその夢を叶えてください!!そして、健康に生きてください。

そして、大好きな、大好きな、大———好きな、だいたいだあーい好きなバドミントンを死ぬまで続けてください!!そして、永遠にバドミントンを好きでいてください!

曾根中学校 3年4組



30さいのおたいへん...

あなたの夢は、大好きなバドミントンをずっと続けて、小さな子供にバドミントンの楽しさを教えることです。あなたは、その夢を叶えていますか？

中学生のころはいろいろありました。あなたは、^{曾根東}小学校を卒業し、曾根中学校に入りました。1年3組だったあなたの担任の先生であった、栗原博巳先生がバドミントン部の顧問だったということもあり、なんとなく、あなたは、バドミントン部に入部しました。まさか、あんなに楽しい、きつい部活だったと気づかずに...。それから毎日、本当に大変でした。あなたの学年のバドミントン部の中で、一番最初に栗原先生におこられたのもあなたでした。おこられてばかりで、まったくできない自分がぐちゃぐちゃで、あなたも、なんでも泣きました。泣いて泣いて泣きまわりました。

でも、1年をおえたとき、あなたは、初めて勝てるようになりまし。1点と戦わば喜んで、それが優勝することができると進歩しました。それが、とっても楽しく、そして、それと、どうい、負けることのくやしさを覚えました。そして、2年目をおえた時、あなたは、とっても、バドミントンが大好きになっていました。初めて、XXXXXXXXXX ちゃんと練習で、賞状をもらった時のこと、XXXXXXXXXX ちゃんと練習で初めて、市で優勝できた時のこと、県で三位になった時のこと、九州大会出場が決まった時の喜び、きっと今も忘れてないでしょう。けれど、その喜びの分だけ、つらいことも悲しいことも辛いことも辛いことも、ありました。でも、中学校で過ごしたときの全ての思い出は今のあなたも覚えて

いるほどの、大切な大切なことから思っています。そして、これからも、その思い出はきっとずっとだからあると思います。あなたは、進路を決めるとき、ずいぶん悩みました。九州国際大学付属高校に行くのか、福岡県立小倉西高校に行くのか、ずいぶん悩みました。でも、結局あなたは、小倉西高校を選ばれました。その時のあなたは、その選択が正しかったのか、わかりませんでした。でも、今はもうその答えがでているはずで、その時のあなたは、外国に行くことがなかったことを少し後悔していました。でも、今のあなたは、きっとこうかいていないと信じています。きっと、楽しい高校生活を送り、楽しい大学生活をおくり、元気に過ごしていると思います。

もし、今のあなたが、自分の夢をまだ叶えられなかったとしたら、今から、その夢を叶えてください!!。そして、けんこうに生きてください!!。そして、好きな大好きな大——好きなだけいたいたあーい好きなバドミントンを、死ぬまで続けてください!!。そして、永遠にバドミントンを好きでいてください!!



先生に送られてきた手紙の実物です。本人の名誉のために(笑)、当時は友達同士で書く手紙の字をこのように書くのが流行っていました。お家の人なら分かるかもしれません...